



2007年10月1日

## 地震防災・耐震化啓発教材「ぶるる」が 2007年度グッドデザイン賞を受賞しました

弊社は、予ねてから名古屋大学福和伸夫教授の御指導の下、建物の耐震化等、地震防災のための具体的な行動を促進することを目的として、分かり易い耐震化啓発教材“ぶるる”の開発、製造、販売を進めて参りました。

この程、2007年グッドデザイン賞(新領域デザイン部門)に、“触れて学ぶ耐震実験教材「ぶるる」”を以って、名古屋大学・環境学研究科を中心に、応用地震計測(株)、(株)日本システム設計、(株)えびす建築研究所の4者共同で応募し、受賞致しました。

「ぶるる」の名称は、基本コンセプトである「運ぶ・回る・揺れる」から採られたもので、各種防災フェアの機会ごとに、手回し型、電動型、手押し型の教材を持ち込んで実際に建物模型を揺らし、耐震化の有無による揺れ方の違いを見せるところから始まりました。卓上でのデモ用教材「手回しぶるる」「電動ぶるる」、ステージ上でのデモ用教材「台車ぶるる」は、開発当初からの代表的商品です。特に、2階建家屋の模型を自分で作り揺らす教材「紙ぶるる」は、子供でも容易に組立てられ、耐震補強効果を容易に体感できる教材として広く知られるに至り、既に15万枚超の売上を記録しました。

「ぶるる」シリーズはその後進化を続けています。最近問題となっている長周期地震動に伴う超高層建物での大振幅の揺れを体感できる大型の自走式「ルンルンぶるる」が、名古屋大学内に設置されています。また、「液状化ぶるる」や「津波模型」等、地震に伴う様々な自然災害を水や砂を使用してそのまま模型化した教材、「木造住宅倒壊模型」「ブロック塀模型」など、ゴム紐と磁石を巧みに利用することで短時間に繰り返し実験を行える教材も誕生します。

私共は、今後も様々な「ぶるる」を開発・改良し、地震防災・建物耐震化の啓発に役立ちたいと考えております。



2007年グッドデザイン  
審査会場での展示風景

財団法人日本産業デザイン振興会へのリンク

<http://www.g-mark.org/search/Detail?id=33942&sheet=outline&lang=ja>